

期完成を国、北海道に対して要望します。

また、道道上登別室蘭線（中央通若山地区2期工区）の早期着手を要望するほか、市道の改良工事などの整備を進めます。

◎住宅

地域に根ざした良質な住宅供給など、住宅政策の総合的・長期的な基本方針である『登別市住宅マスタープラン』および『登別市営住宅ストック総合活用計画』の見直しを行います。

また、改正耐震改修促進法に基づき、昭和56年以前に建設された建築物の耐震化を図るため、専用住宅、共同住宅、そのほか建築物の現状を把握し、耐震化に向けた『登別市耐震促進計画』を策定します。

◎公共下水道事業

平成20年度末で約92%の普及率となる見込みです。

本年度の主な整備区域は、登別東町5丁目、登別本町2丁目・3丁目の整備を行い、登別地区の面整備を完了します。

若山浄化センターについては、老朽化が進んでいる汚泥脱水設備の更新を、本年度から2カ年にわたって実施します。

また、し尿および浄化槽汚水を若山浄化センターで処理するため、し尿投入施設の建設に着手し、平成23年4月の供用開始を目指します。



▲若山浄化センター

◎クリンクルセンターの運営管理

本年4月より白老町から燃やせるごみおよびペットボトルが搬入されなくなることから、効率的な運営を行い、経費の削減に努めます。

◎地上デジタル放送への対応

NHKおよび民間放送各局による登別中継局、幌別中継局および登別東微小中継局のデジタル化が平成22年に予定されていますが、放送事業者では実施が困難なことから、国の支援制度などを活用し、中継局のデジタル化に向けて準備を進めます。

重点施策⑥

協働のまちづくりの推進

まちづくりについては、市民一人一人がまちの将来について思いをめぐらし、皆が責任をもって協働でまちづくりに取り組むことが何よりも肝要です。まちづくりにあたっては、市民と市がまちづくりに関する情報が共有することが重要ですので、市が保有する情報を積極的に提供しま

す。

また、情報を簡潔で分かりやすく、迅速に伝えるため、昨年8月に室蘭市に開局したコミュニティFMから番組を購入し、市のイベントや行事、各地区のまちづくりの取り組み、市民生活などに役立つ情報発信の拡充に努めます。市のホームページについても、分かりやすい行政情報や魅力ある観光情報の閲覧がしやすいようホームページの表紙を更新するとともに、ホームページモニター制度を導入し、定期的に改善点などを探るなど、利用者の利便と適切な情報提供に努めます。

◎魅力の再発見

各地域の美しい自然や風景などを掘り起こし、魅力の再発見につなげるため、登別市環境保全市民会議と協働で地域の自然や風景などをとりまとめ、広く市民と情報を共有する事業『歩いてみませんか わが家の散歩道』に取り組みます。



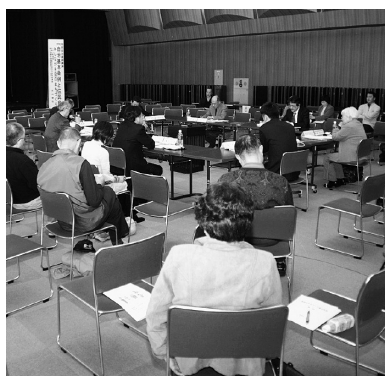
▲中登別の桜並木『花のトンネル』

◎協働のまちづくりの推進

『登別市まちづくり基本条例』に

基づき設置された登別市市民自治推進委員会をはじめ、個人や団体を問わず市民と直接の対話を通して意見集約や協議を重ねていきたいと考えています。

また、本市の市民自治の推進役を担う登別市市民自治推進委員会の活動を支援するため、市民を対象とした講演会開催事業などについて支援します。



▲3月1日に開催された第2回市民自治フォーラム

◎(仮称)市民活動センターの設立

市民が生き生きと市民活動を展開し、活力あるまちづくりを進めるため、市民活動の拠点となる『(仮称)市民活動センター』の設立に向け、市民活動を行っている各種団体の皆さんとセンターの機能や役割などについて十分な協議を進めます。

◎環境保全・美化活動

昨年7月に、この西胆振で『北海道洞爺湖サミット』が開催され、本市においては、環境保全や美化活動などさまざまな市民活動が展開されました。